

バス事業者による運行検証の結果により、
記載内容を修正する場合があります。

江別市地域公共交通再編実施計画 (素案)

平成30年3月

江 別 市

江別市地域公共交通活性化協議会

【 目 次 】

第 1 章 江別市地域公共交通再編実施計画の趣旨	1
1-1 背景	1
1-2 計画策定の目的	1
1-3 計画の区域	1
1-4 計画の期間	1
第 2 章 本計画の基本的な考え方	2
2-1 バス路線再編の基本的な考え方	2
第 3 章 事業の内容	4
3-1 事業の全体像	4
3-2 市内バス路線の再編	5
3-2-1 市内バス路線の再編の全体像	5
3-2-2 新たに運行を開始する路線	7
3-2-3 運行を廃止する路線	16
3-2-4 運行経路を変更する路線	18
3-3 路線の収支、再編後の収支見込額及び活用を想定する補助制度	38
第 4 章 事業の効果	39
4-1 市内バス路線の再編による事業の効果	39
4-1-1 路線新設による事業の効果	39
4-1-2 運行経路の変更等による事業の効果	39
第 5 章 江別市による支援	40
5-1 江別市地域公共交通活性化協議会の運営等	40
5-2 公共交通の利用促進及び啓発等	40
5-3 路線バス事業の維持・確保に対する財政的支援	40

第1章 江別市地域公共交通再編実施計画の趣旨

1-1 背景

江別市内のバス路線は、モータリゼーションの進展などにより利用者の減少傾向が続いており、これに伴い、多額の赤字を抱えながら運行しているのが実情です。この赤字を解消するために、減便や路線の廃止による運行の効率化が行われてきましたが、これがさらなる利用者の減少につながるなど、負の連鎖に陥っているといえます。

また、近年は、深刻化している人材不足により、事業者における乗務員の確保が年々厳しくなっており、江別市内においても、乗務員不足により現在の運行規模を維持することが難しくなっています。

一方で、現在、江別市民の4人に1人が高齢者となり、今後も増加傾向が続くと見込まれることから、高齢者の移動手段の確保が課題となっており、このため、市内公共交通の必要性は、さらに高まるものと考えられます。

1-2 計画策定の目的

本計画は、江別市地域公共交通網形成計画に基づき、持続可能な公共交通ネットワークの維持・確保に向けた公共交通の利便性・効率性の向上を図り、また、駅を中心としたコンパクトなまちづくりを推進するため、市内バス路線の再編実施計画として策定するものです。

1-3 計画の区域

本計画の対象区域は、江別市全域とします。

1-4 計画の期間

本計画の期間は、平成30年10月1日から平成35年3月31日までとします。

ただし、計画期間内においても、路線バスの利用実態や環境の変化などを踏まえ、江別市地域公共交通活性化協議会において必要に応じた検討を行い、計画の変更等を行うこととします。

第2章 本計画の基本的な考え方

2-1 バス路線再編の基本的な考え方

本計画による市内バス路線の再編は、江別市地域公共交通網形成計画の「第5章 計画の目標及び目標達成のための施策」に基づき実施するものです。

江別市地域公共交通網形成計画

第5章 計画の目標及び目標達成のための施策

1. 計画の目標		
(1) 路線バス輸送人員の維持		
<p>少子高齢化の進展とともに人口減少が進む中、本計画の推進が路線バスの利用者減少を抑制し、持続可能な公共交通ネットワークの構築に寄与しているかを評価するため、目標を路線バス輸送人員により設定します。</p>		
把握する指標	現況値 (H26～H28の平均値)	将来目標値 (H34)
路線バス輸送人員 (市内路線と市外路線)	合計 4,067 千人	合計 4,067 千人
(2) 交通環境に満足している市民割合の向上		
<p>市民の交通環境に関する満足度が、本計画の推進により向上しているかを評価するため、目標を交通環境に満足している市民割合により設定します。</p>		
把握する指標	現況値 (H28)	将来目標値 (H34)
交通環境に満足している 市民割合	65.9%	69.0%

2. 目標達成のための施策及び事業	
基本方針1 持続可能な公共交通ネットワークの維持・確保に向けた公共交通の利便性・効率性の向上	
施策項目	(1) バスネットワークの再編
具体的な施策	① バス路線の見直し
	・バス利用実態やアンケート調査等の分析によるニーズを踏まえ、市民の利便性とバス事業者の採算性のバランスを図り、持続可能なバス路線を形成

	<p>するための見直しを行います。</p> <p><基本的な考え方></p> <p>(1) 駅を中心とした効率的なバス路線の形成</p> <p>(2) 平成 27 年度実証運行路線を踏まえた路線再編</p> <p>(3) 一定の人口の張り付きがあり、近くにバス路線（バス停）がない地域への対応</p> <p>(4) 利用者増を見込んだ経路変更</p>
実施主体	江別市、公共交通事業者 等
基本方針 2 駅を中心としたコンパクトなまちづくりの推進	
施策項目	(1) 交通結節機能の強化
具体的な施策	② バス路線の見直し【再掲】
実施主体	江別市、公共交通事業者 等

第3章 事業の内容

3-1 事業の全体像

江別市内を運行するバス路線と本計画に基づき実施する市内バス路線の再編の概要を以下に示します。

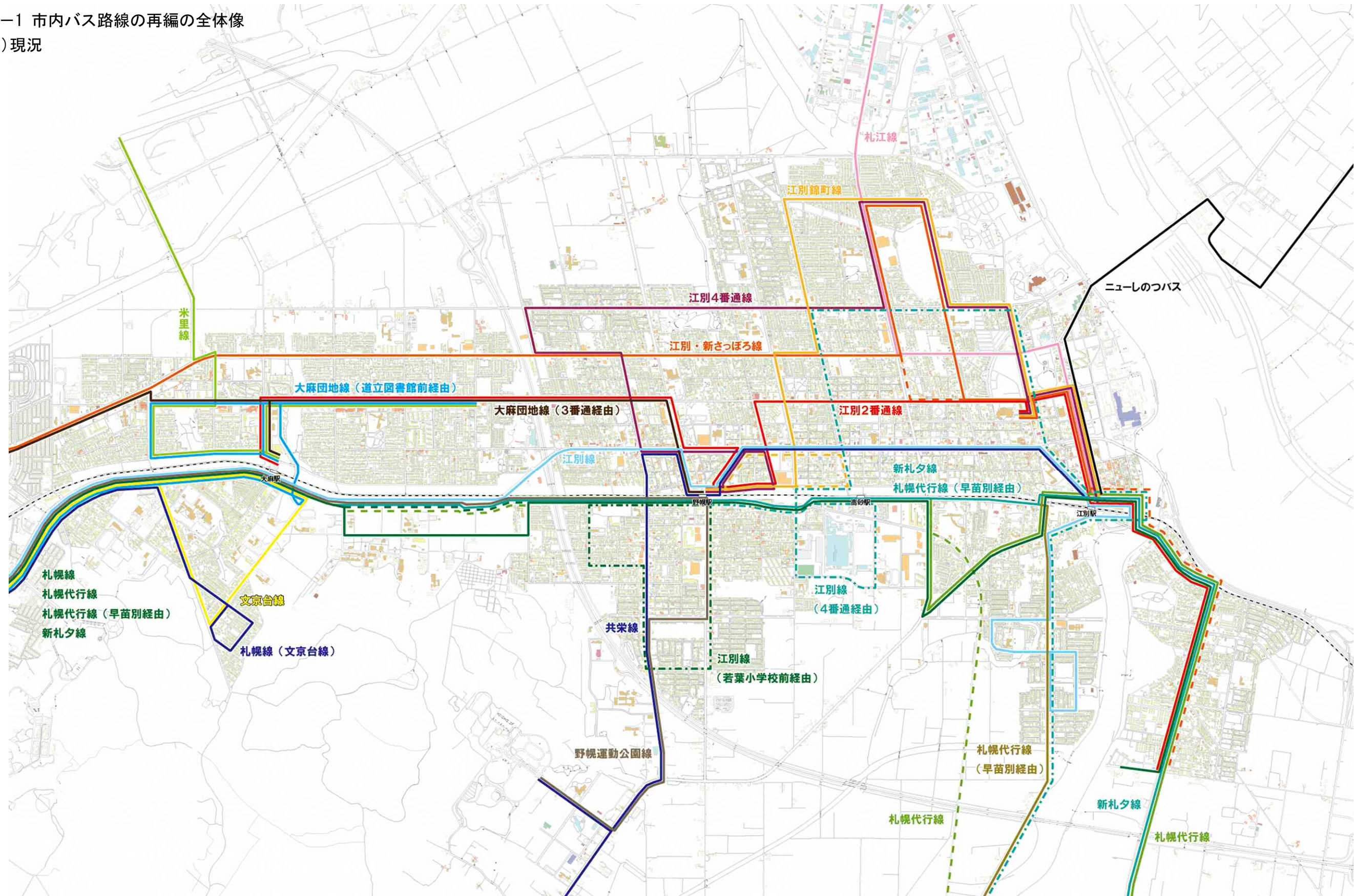
事業内容		再編時期	実施主体	備考	
統合	新設	(仮称)循環線	H30.10.1	北海道中央バス株式会社	
	廃止	江別4番通線	H30.10.1	北海道中央バス株式会社	
		江別錦町線	H30.10.1	北海道中央バス株式会社	
経路変更		江別2番通線	H30.10.1	北海道中央バス株式会社	
		江別・新さっぽろ線	H30.10.1	北海道中央バス株式会社	
		札江線	H30.10.1	北海道中央バス株式会社	
		札幌線	H31. 4. 1	夕張鉄道株式会社	あけぼの団地 発
変更なし (本計画の対象外)		江別線	—	ジェイ・アール北海道バス株式会社	
		野幌運動公園線	—	ジェイ・アール北海道バス株式会社	
		共栄線	—	ジェイ・アール北海道バス株式会社	
		米里線	—	ジェイ・アール北海道バス株式会社	
		文京台線	—	ジェイ・アール北海道バス株式会社	
		大麻団地線	—	ジェイ・アール北海道バス株式会社	
		札幌線	—	夕張鉄道株式会社	文京台南町 発
		江別線	—	夕張鉄道株式会社	中の月 発
		江別線	—	夕張鉄道株式会社	野幌駅南口 発
		札幌代行線	—	夕張鉄道株式会社	栗山駅前 発
		札幌代行線	—	夕張鉄道株式会社	南幌南町 発
		新札夕線	—	夕張鉄道株式会社	
		ニューしのつバス	—	新篠津村	

3-2 市内バス路線の再編

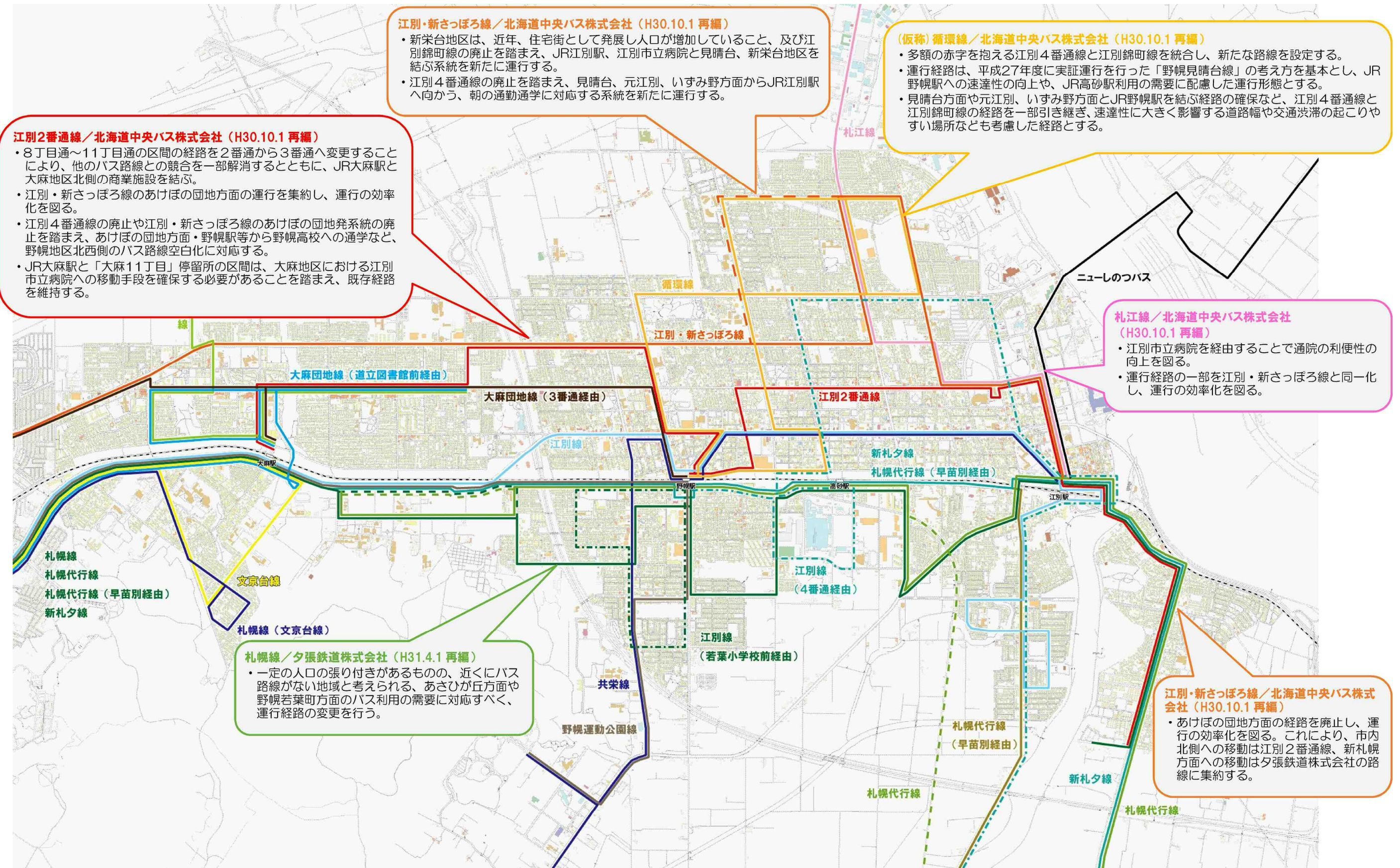
本計画に基づき、新たに運行を開始する路線、運行経路を変更する路線、運行を廃止する路線について示します。

3-2-1 市内バス路線の再編の全体像

(1) 現況



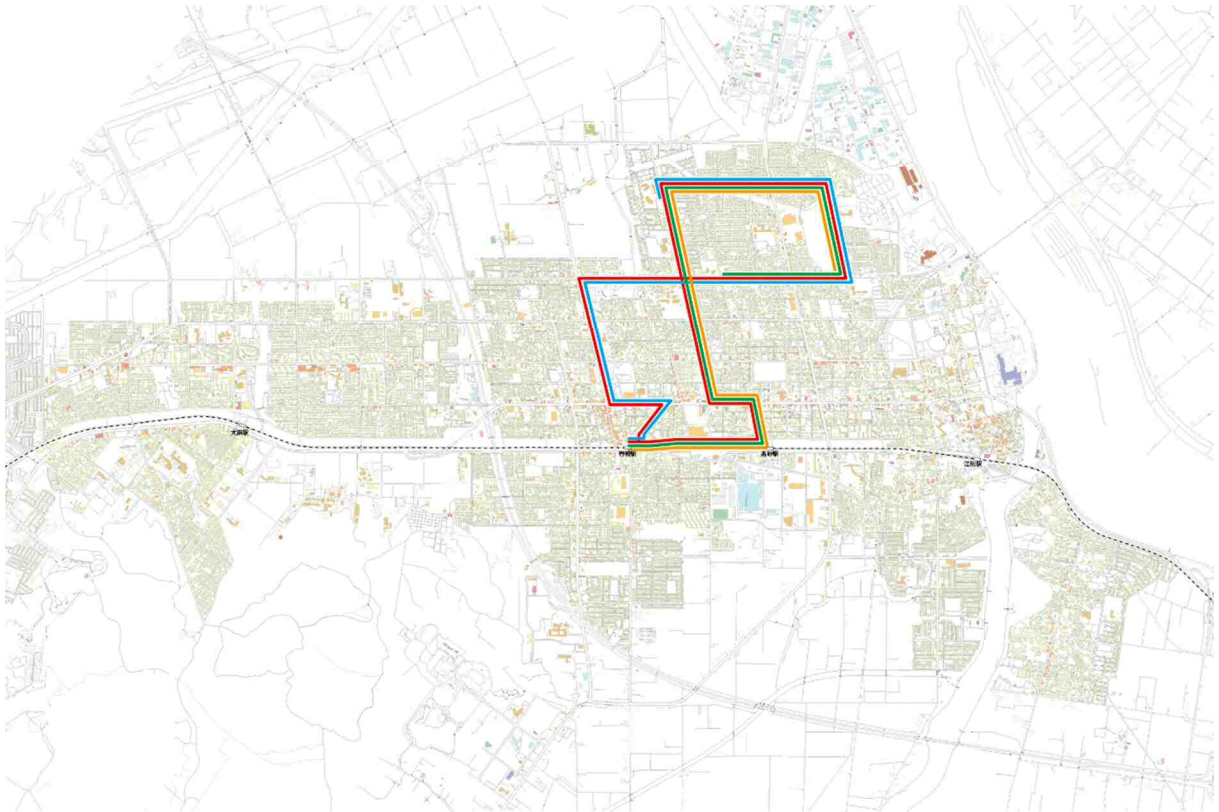
(2) 路線再編



3-2-2 新たに運行を開始する路線

(1) (仮称)循環線（4丁目経由）

【H30再編後】



①運行概要

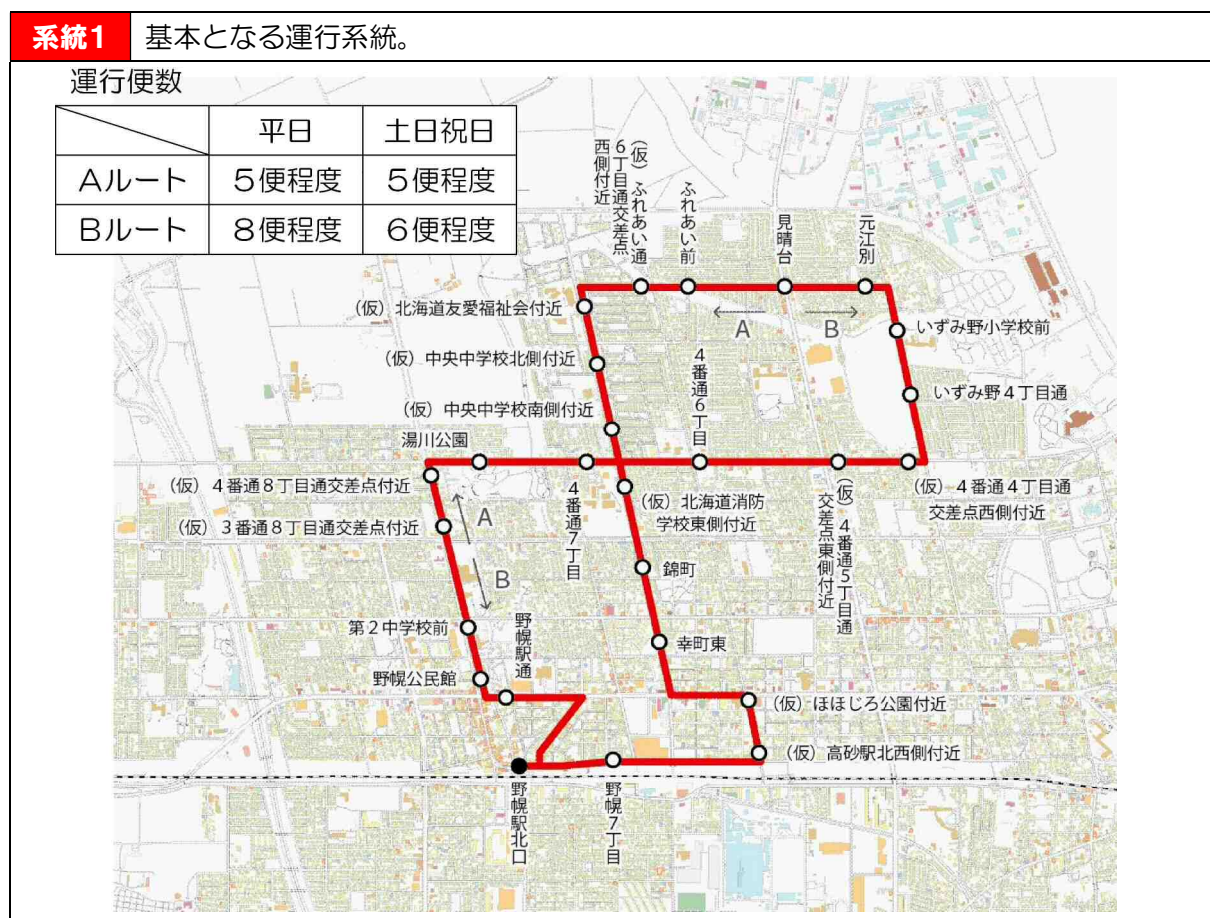
運行のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 多額の赤字を抱える江別4番通線と江別錦町線を統合し、新たな路線を設定する。 運行経路は、平成27年度に実証運行を行った「野幌見晴台線」の考え方（8の字型運行）を基本とし、JR野幌駅への速達性の向上や、JR高砂駅利用の需要に配慮した運行形態とする。 元江別、いずみ野方面とJR野幌駅を結ぶ経路の確保など、江別4番通線と江別錦町線の経路を一部引き継ぎ、速達性に大きく影響する道路幅や交通渋滞の起こりやすい場所なども考慮した経路とする。
対応させる移動目的	通勤・通学・通院・買物
起終点・運行距離	起点：野幌駅前 ～ 終点：野幌駅前（約11km）
主たる経由地	4丁目通
事業主体	北海道中央バス株式会社
事業形態	一般乗合旅客運送（路線定期運行）
運行日	通年（年末年始は特別ダイヤ）
総停留所数	26箇所（予定）
再編実施日	平成30年10月1日

②全体の運行規模（予定）

起点	主な経由地	終点
野幌駅北口	4丁目通	野幌駅北口

運行する経路、方向（主な停留所、道路など）		運行便数	
		平日	土日祝日
A ルート	野幌駅北口→野幌駅通→（8丁目通）→（4番通）→いずみ野4丁目通→元江別→見晴台→(仮)北海道友愛福祉会付近→（新栄通）→(仮)高砂駅北西側付近→野幌7丁目→野幌駅北口	7便程度 （途中起点便を含む）	6便程度 （途中起点便を含む）
B ルート	野幌駅北口→野幌7丁目→(仮)高砂駅北西側付近→（新栄通）→(仮)北海道友愛福祉会付近→見晴台→元江別→いずみ野4丁目通→（4番通）→（8丁目通）→野幌駅通→野幌駅北口	11便程度 （途中起点便、途中終点便を含む）	8便程度 （途中終点便を含む）

③運行系統図及び運行便数（予定）



系統2 通期・通学の利用者をJR野幌駅へ送るため、朝に設定する運行系統。

運行便数

	平日	土日祝日
Bルート	1便程度	—



系統3 通期・通学の利用者をJR野幌駅へ送るため、朝に設定する運行系統。

運行便数

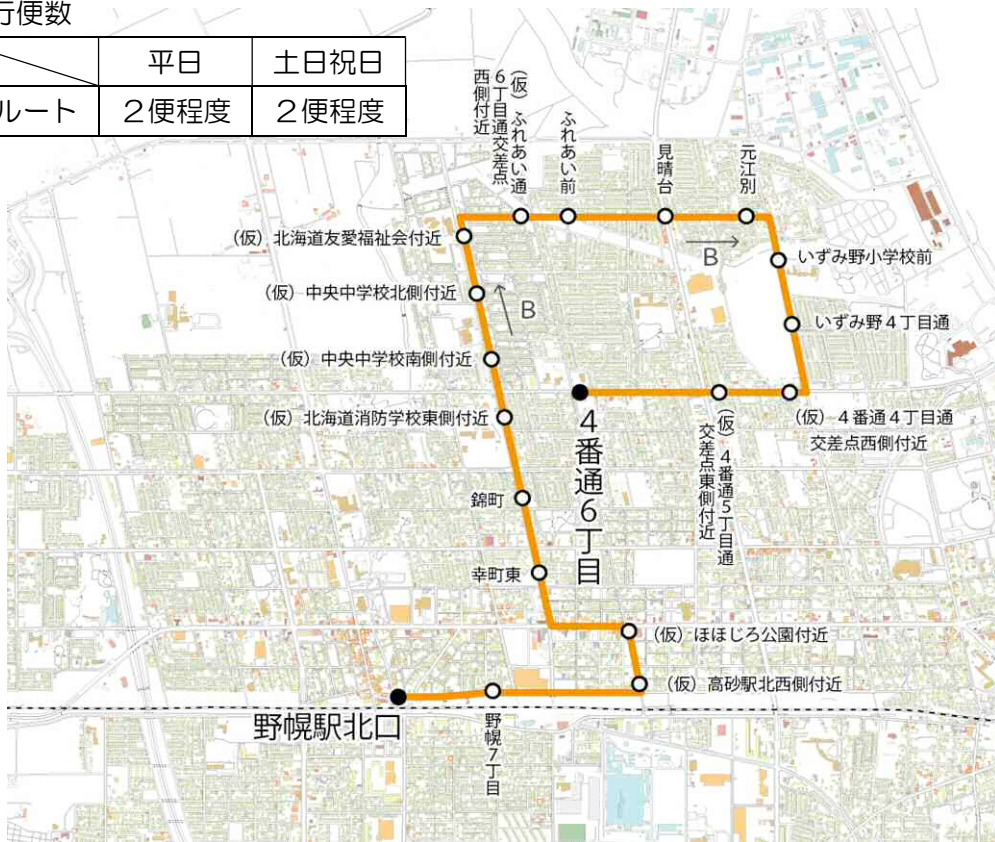
	平日	土日祝日
Aルート	2便程度	1便程度



系統4 JR野幌駅からの帰宅のため、夜に設定する運行系統。

運行便数

	平日	土日祝日
Bルート	2便程度	2便程度



④運行系統ごとの停留所（予定）

No	停留所名	読み	系統1	系統2	系統3	系統4
1	野幌駅北口	のっぼろえききたぐち	○		△	▽
2	野幌7丁目	のっぼろななちょうめ	○		△	▽
3	(仮) 高砂駅北西側付近		○		△	▽
4	(仮) ほほじろ公園付近		○		△	▽
5	幸町東	さいわいちょうひがし	○		△	▽
6	錦町	にしきまち	○		△	▽
7	(仮) 北海道消防学校東側付近		○		△	▽
8	(仮) 中央中学校南側付近		○		△	▽
9	(仮) 中央中学校北側付近		○		△	▽
10	(仮) 北海道友愛福祉会付近		○	▽	△	▽
11	(仮) ふれあい通6丁目通交差点西側付近		○	▽	△	▽
12	ふれあい前	ふれあいまえ	○	▽	△	▽
13	見晴台	みはらしだい	○	▽	△	▽
14	元江別	もとえべつ	○	▽	△	▽
15	いずみ野小学校前	いずみのしょうがっこうまえ	○	▽	△	▽
16	いずみ野4丁目通	いずみのよんちょうめどおり	○	▽	△	▽
17	(仮) 4番通4丁目通交差点西側付近		○	▽		▽
18	(仮) 4番通5丁目通交差点東側付近		○	▽		▽
19	4番通6丁目	よんぱんどおりろくちょうめ	○	▽		▽
20	4番通7丁目	よんぱんどおりななちょうめ	○	▽		
21	湯川公園	ゆかわこうえん	○	▽		
22	(仮) 4番通8丁目通交差点付近		○	▽		
23	(仮) 3番通8丁目通交差点付近		○	▽		
24	第2中学校前	だいにちゅうがっこうまえ	○	▽		
25	野幌公民館	のっぼろこうみんかん	○	▽		
26	野幌駅通	のっぼろえきどおり	○	▽		
	野幌駅北口	のっぼろえききたぐち	○	▽		

○：昇順・降順の両方で乗降可

▽：昇順の運行時のみ乗降可

△：降順の運行時のみ乗降可

(2) (仮称)循環線（5丁目経由）

【H30再編後】



①運行概要

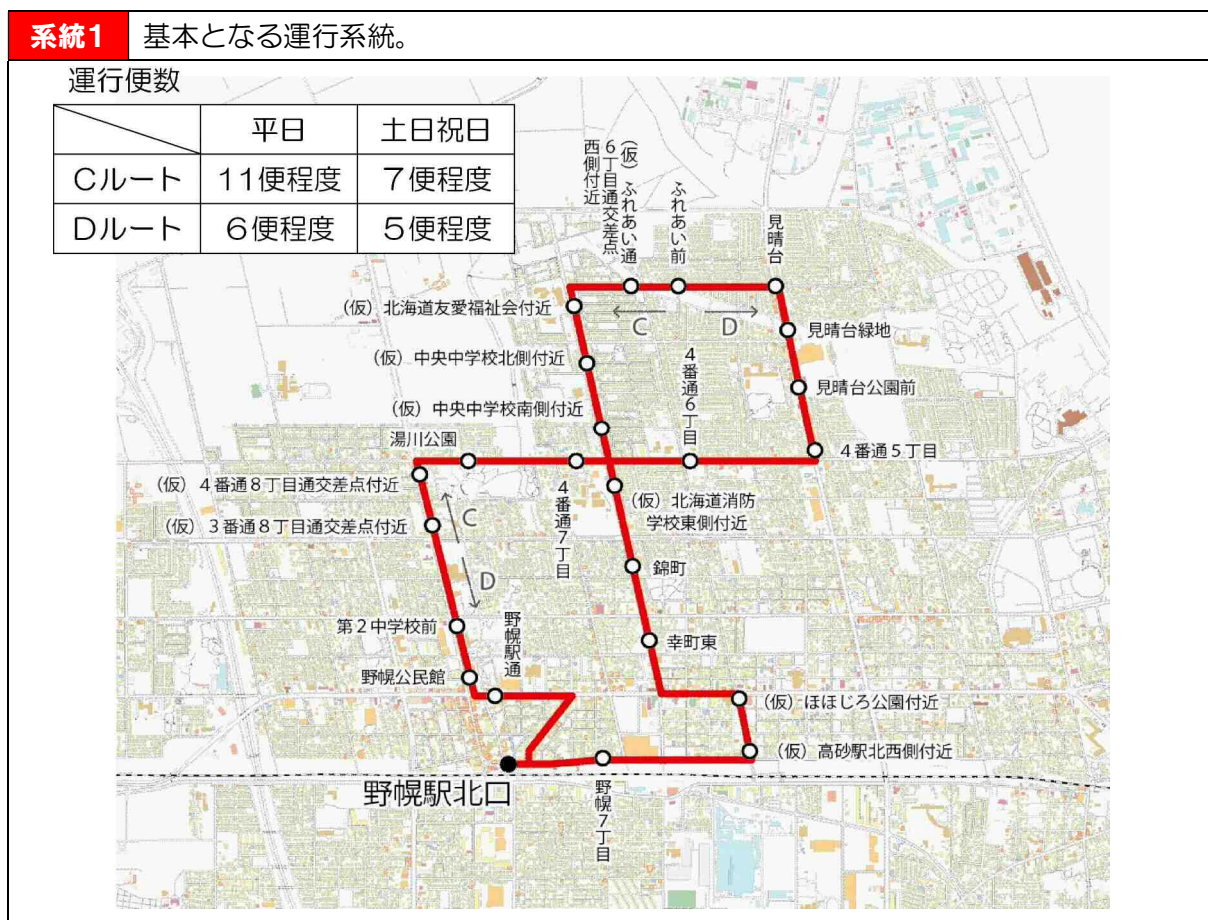
運行のねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 多額の赤字を抱えている江別4番通線と江別錦町線を統合し、新たな路線を設定する。 • 運行経路は、平成27年度に実証運行を行った「野幌見晴台線」の考え方（8の字型運行）を基本とし、JR野幌駅への速達性の向上や、JR高砂駅利用の需要に配慮した運行形態とする。 • 見晴台方面とJR野幌駅を結ぶ経路の確保など、江別4番通線と江別錦町線の経路を一部引き継ぎ、速達性に大きく影響する道路幅や交通渋滞の起こりやすい場所なども考慮した経路とする。
対応させる移動目的	通勤・通学・通院・買物
起終点・運行距離	起点：野幌駅前 ～ 終点：野幌駅前（約10km）
主たる経由地	5丁目通
事業主体	北海道中央バス株式会社
事業形態	一般乗合旅客運送（路線定期運行）
運行日	通年（年末年始は特別ダイヤ）
総停留所数	24箇所（予定）
再編実施日	平成30年10月1日

②全体の運行規模（予定）

起点	主な経由地	終点
野幌駅北口	5丁目通	野幌駅北口

運行する経路、方向（主な停留所、道路など）		運行便数	
		平日	土日祝日
C ルート	野幌駅北口→野幌駅通→（8丁目通）→（4番通） →見晴台公園前→見晴台→(仮)北海道友愛福祉会 付近→（新栄通）→(仮)高砂駅北西側付近→野幌7 丁目→野幌駅北口	12便程度 （途中終点便 を含む）	9便程度 （途中終点便 を含む）
D ルート	野幌駅北口→野幌7丁目→(仮)高砂駅北西側付近 →（新栄通）→(仮)北海道友愛福祉会付近→見晴台 →見晴台公園前→（4番通）→（8丁目通）→野幌 駅通→野幌駅北口	7便程度 （途中起点便 を含む）	6便程度 （途中起点便 を含む）

③運行系統図及び運行便数（予定）



系統2 通期・通学の利用者をJR野幌駅へ送るため、朝に設定する運行系統。

運行便数

	平日	土日祝日
Dルート	1便程度	1便程度



系統3 JR野幌駅からの帰宅のため、夜に設定する運行系統。

運行便数

	平日	土日祝日
Cルート	1便程度	2便程度



④運行系統ごとの停留所（予定）

No	停留所名	読み	系統1	系統2	系統3
1	野幌駅北口	のっぼろえききたぐち	○		
2	野幌7丁目	のっぼろななちようめ	○		
3	(仮) 高砂駅北西側付近		○		
4	(仮) ほほじろ公園付近		○		
5	幸町東	さいわいちょうひがし	○		
6	錦町	にしきまち	○		
7	(仮) 北海道消防学校東側付近		○		
8	(仮) 中央中学校南側付近		○		△
9	(仮) 中央中学校北側付近		○		△
10	(仮) 北海道友愛福祉会付近		○	▽	△
11	(仮) ふれあい通6丁目通交差点西側付近		○	▽	△
12	ふれあい前	ふれあいまえ	○	▽	△
13	見晴台	みはらしだい	○	▽	△
14	見晴台緑地	みはらしだいらよくち	○	▽	△
15	見晴台公園前	みはらしだいがうえんまえ	○	▽	△
16	4番通5丁目	よんぼんどおりごちようめ	○	▽	△
17	4番通6丁目	よんぼんどおりろくちようめ	○	▽	△
18	4番通7丁目	よんぼんどおりななちようめ	○	▽	△
19	湯川公園	ゆかわこうえん	○	▽	△
20	(仮) 4番通8丁目通交差点付近		○	▽	△
21	(仮) 3番通8丁目通交差点付近		○	▽	△
22	第2中学校前	だいにちゅうがっこうまえ	○	▽	△
23	野幌公民館	のっぼろこうみんかん	○	▽	△
24	野幌駅通	のっぼろえきどおり	○	▽	△
	野幌駅北口	のっぼろえききたぐち	○	▽	△

○：昇順・降順の両方で乗降可

▽：昇順の運行時のみ乗降可

△：降順の運行時のみ乗降可

3-2-3 運行を廃止する路線

(1) 江別4番通線

【現行路線】



廃止路線の概要

路線再編の視点	<ul style="list-style-type: none"> 江別4番通線は、江別錦町線と起終点が同一であり、かつJR江別駅から「見晴台」停留所までの経路が同一であるため、非効率な運行となっている。 これにより年間1,800万円以上の赤字（平成28年度）を抱えており、路線を維持することが難しい状況となっているため、(仮称)循環線へ統合することにより路線の再編を行うものである。
対応する移動目的	通勤・通学・通院・買物
起終点・運行距離	起点：江別駅前 ～ 終点：野幌駅北口（約12km）
主たる経由地	4番通、野幌7丁目
事業主体	北海道中央バス株式会社
事業形態	一般乗合旅客運送（路線定期運行）
運行日	通年（年末年始は特別ダイヤ）
総停留所数	31箇所
再編実施日	平成30年10月1日

(2) 江別錦町線

【現行路線】



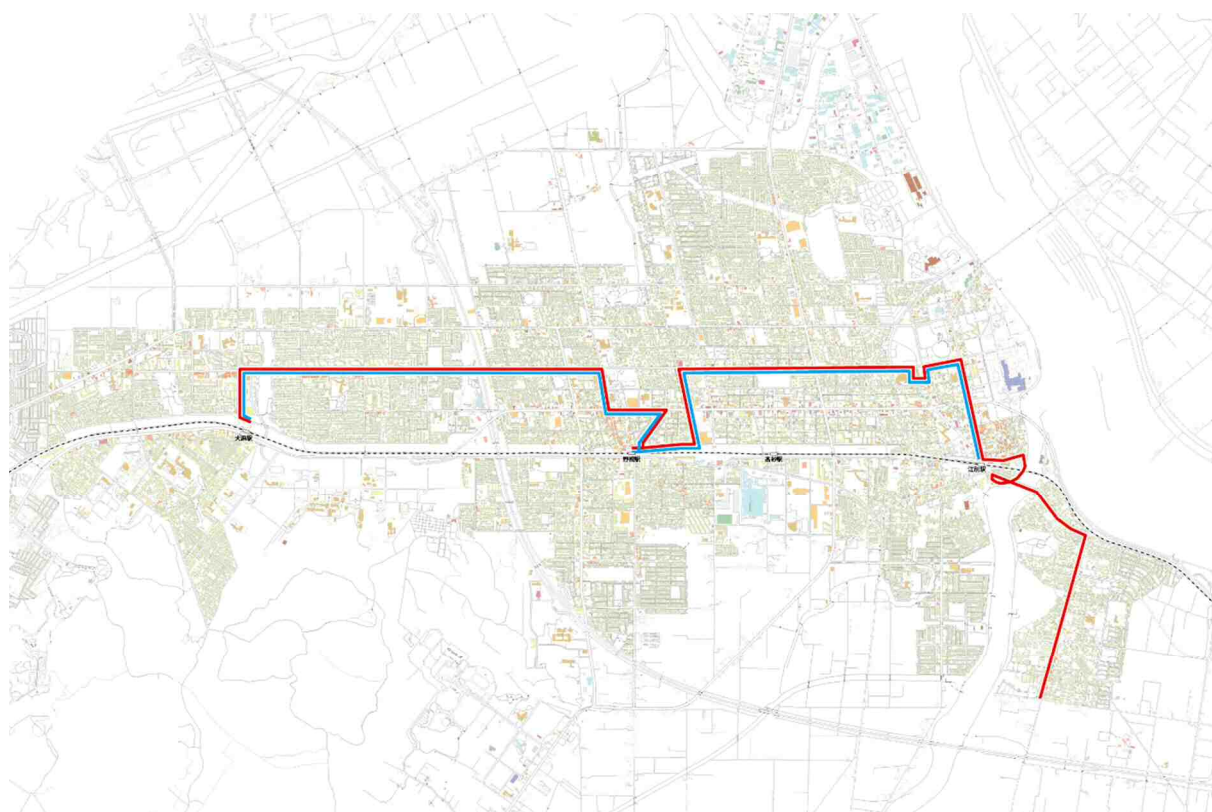
廃止路線の概要

路線再編の視点	<ul style="list-style-type: none"> 江別錦町線は、江別4番通線と起終点が同一であり、かつJR江別駅から「見晴台」停留所までの経路が同一であるため、非効率な運行となっている。 これにより年間約1,000万円の赤字（平成28年度）を抱えており、路線を維持することが難しい状況となっているため、(仮称)循環線へ統合することにより路線の再編を行うものである。
対応する移動目的	通勤・通学・通院・買物
起終点・運行距離	起点：江別駅前 ～ 終点：野幌駅北口（約8km）
主たる経由地	錦町
事業主体	北海道中央バス株式会社
事業形態	一般乗合旅客運送（路線定期運行）
運行日	通年（年末年始は特別ダイヤ）
総停留所数	26箇所
再編実施日	平成30年10月1日

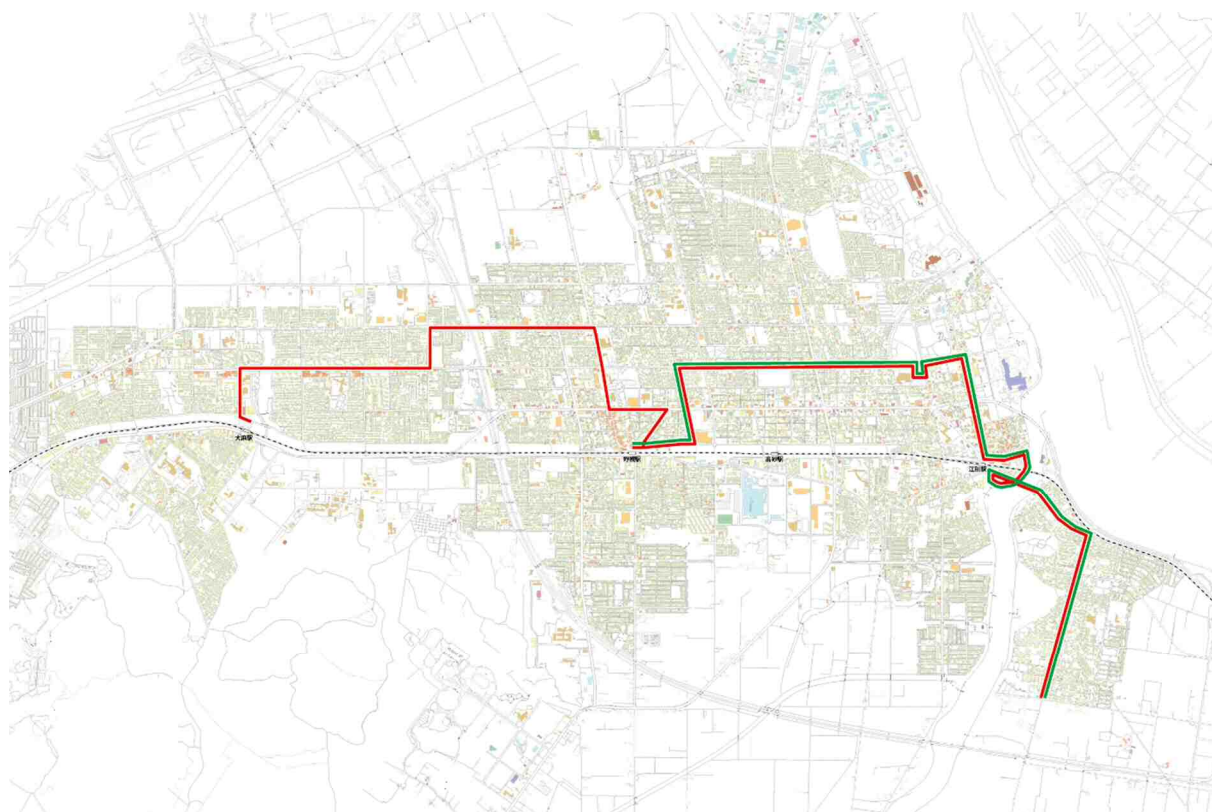
3-2-4 運行経路を変更する路線

(1) 江別2番通線

【現行路線】



【H30再編後】



①運行概要

運行のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・8丁目通～11丁目通の区間の経路を2番通から3番通へ変更することにより、他のバス路線との競合を一部解消するとともに、JR大麻駅と大麻地区北側の商業施設を結ぶ。 ・江別・新さっぽろ線のあけぼの団地方面の運行を集約し、運行の効率化を図る。 ・江別4番通線の廃止や江別・新さっぽろ線のあけぼの団地発系統の廃止を踏まえ、あけぼの団地方面・野幌駅等から野幌高校への通学など、野幌地区北西側のバス路線空白化に対応する。 ・JR大麻駅と「大麻11丁目」停留所の区間は、大麻地区における江別市立病院への移動手段を確保する必要があることを踏まえ、既存経路を維持する。
対応させる移動目的	通勤・通学・通院・買物
起終点・運行距離	起点：あけぼの団地 ～ 終点：大麻駅前（約13km）
主たる経由地	野幌駅北口
事業主体	北海道中央バス株式会社
事業形態	一般乗合旅客運送（路線定期運行）
運行日	通年（年末年始は特別ダイヤ）
総停留所数	37箇所（予定）
再編実施日	平成30年10月1日

②運行経路の変更による停留所の変更（予定）

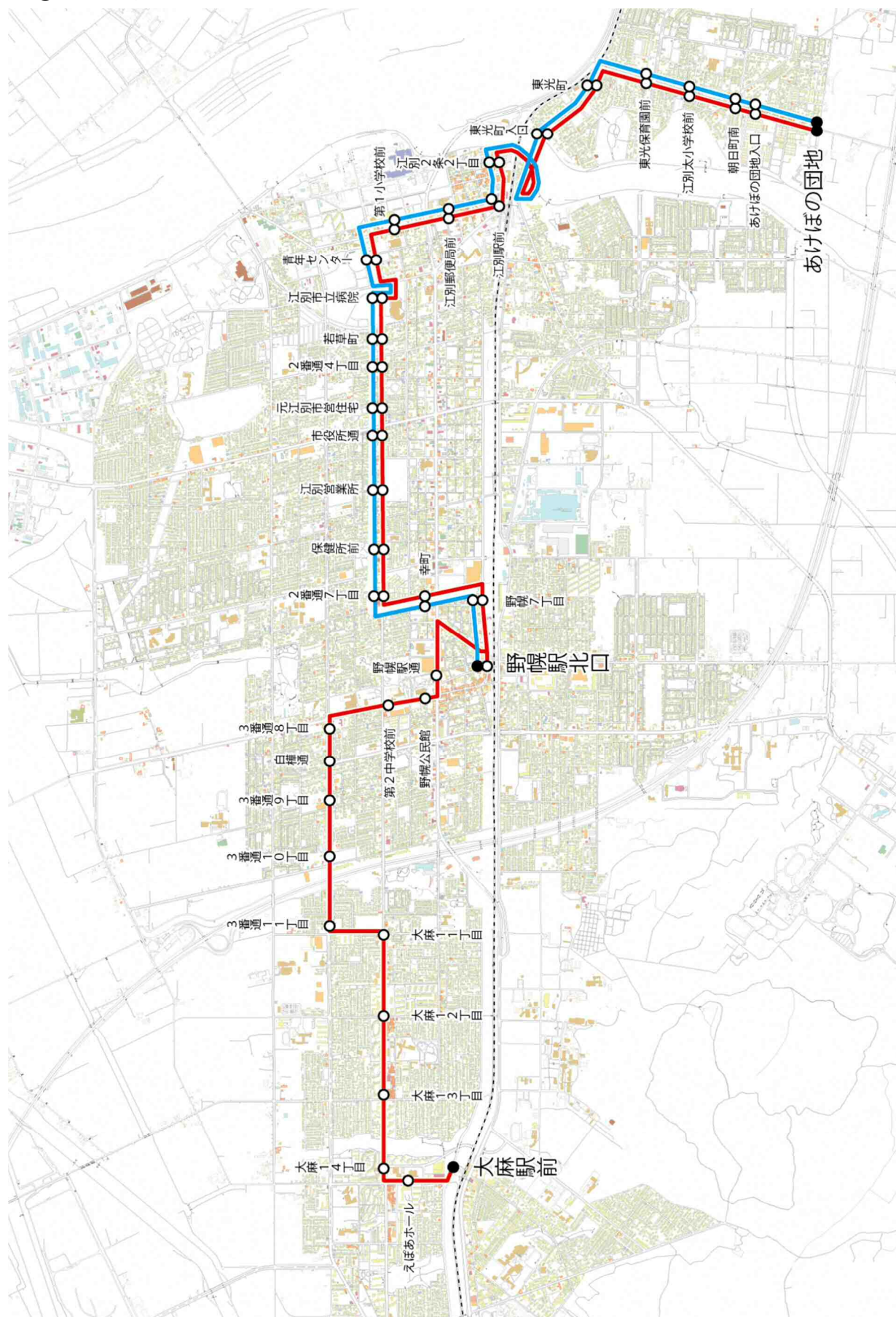
乗降できるようになる停留所	3番通8丁目、白樺通、3番通9丁目、3番通10丁目、3番通11丁目
乗降できなくなる停留所	消防本部前、2番通9丁目、2番通10丁目、大麻栄町

③全体の運行規模（予定）

起点	主な経由地	終点
あけぼの団地	野幌駅北口	大麻駅前

運行 便数	平日		土日祝日	
	再編前	再編後	再編前	再編後
往路	21便	16便程度	13便	10便程度
復路	22便	18便程度	13便	10便程度
備考	上記便数には、途中起点便、途中終点便を含む。			

④運行系統図（予定）



⑤運行便数（予定）

系統1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起点：あけぼの団地、終点：大麻駅前 ・ 江別2番通線の基本となる運行系統。 		
	平日	土日祝日	
	往路	15便程度	10便程度
	復路	17便程度	10便程度

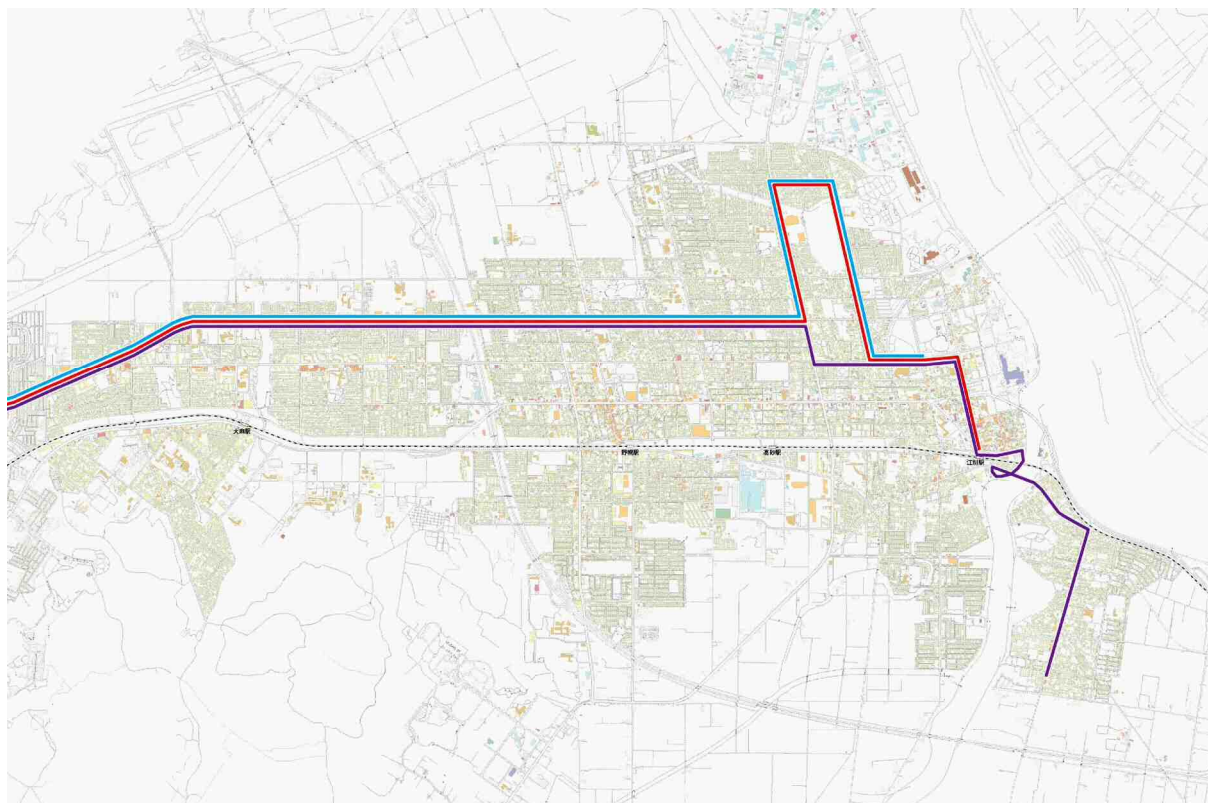
系統2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起点：あけぼの団地、終点：野幌駅北口 ・ 平日の通院・買物の利便性を補完するため、往路は午前、復路は夕刻に設定。 		
	平日	土日祝日	
	往路	1便程度	—
	復路	1便程度	—

⑥運行系統ごとの停留所（予定）

No	停留所名	読み	系統1	系統2
1	あけぼの団地	あけぼのだんち	○	○
2	あけぼの団地入口	あけぼのだんちいりぐち	○	○
3	朝日町南	あさひちょうみなみ	○	○
4	江別太小学校前	えべつぶとしょうがっこうまえ	○	○
5	東光保育園前	とうこうほいくえんまえ	○	○
6	東光町	とうこうちょう	○	○
7	東光町入口	とうこうちょういりぐち	○	○
8	江別2条2丁目	えべつにじょうにちょうめ	○	○
9	江別駅前	えべつえきまえ	○	○
10	江別郵便局前	えべつゆうびんきょくまえ	○	○
11	第1小学校前	だいいちしょうがっこうまえ	○	○
12	青年センター	せいねんせんたー	○	○
13	江別市立病院	えべつしりつびょういん	○	○
14	若草町	わかくさちょう	○	○
15	2番通4丁目	にばんどおりよんちょうめ	○	○
16	元江別市営住宅	もとえべつしえいじゅうたく	○	○
17	市役所通	しやくしよどおり	○	○
18	江別営業所	えべつえいぎょうしよ	○	○
19	保健所前	ほけんじよまえ	○	○
20	2番通7丁目	にばんどおりななちょうめ	○	○
21	幸町	さいわいちょう	○	○
22	野幌7丁目	のっぽろななちょうめ	○	○
23	野幌駅北口	のっぽろえききたぐち	○	○
24	野幌駅通	のっぽろえきどおり	○	
25	野幌公民館	のっぽろこうみんかん	○	
26	第2中学校前	だいにちゅうがっこうまえ	○	
27	3番通8丁目	さんばんどおりはっちょうめ	○	
28	白樺通	しらかぼどおり	○	
29	3番通9丁目	さんばんどおりきゅうちょうめ	○	
30	3番通10丁目	さんばんどおりじゅっちょうめ	○	
31	3番通11丁目	さんばんどおりじゅういっちょうめ	○	
32	大麻11丁目	おおあさじゅういっちょうめ	○	
33	大麻12丁目	おおあさじゅうにちょうめ	○	
34	大麻13丁目	おおあさじゅうさんちょうめ	○	
35	大麻14丁目	おおあさじゅうよんちょうめ	○	
36	えぼあホール	えぼあほーる	○	
37	大麻駅前	おおあさえきまえ	○	

(2) 江別・新さっぽろ線

【現行路線】



【H30再編後】



①運行概要

運行のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・新栄台地区は、近年、住宅街として発展し人口が増加していること、及び江別錦町線の廃止を踏まえ、JR江別駅、江別市立病院と見晴台、新栄台地区を結ぶ系統を新たに運行し、新たな需要の創出を図る。 ・江別4番通線の廃止を踏まえ、見晴台、元江別、いずみ野方面からJR江別駅へ向かう、朝の通勤通学に対応する系統を新たに運行する。 ・あけぼの団地方面の運行経路を廃止し、運行の効率化を図る。これにより、市内北側への移動は江別2番通線、新札幌方面への移動は夕張鉄道株式会社の路線に集約する。
対応させる移動目的	通勤・通学・通院・買物
起終点・運行距離	起点：江別駅前 ～ 終点：新さっぽろ駅（約16km）
主たる経由地	見晴台・3番通
事業主体	北海道中央バス株式会社
事業形態	一般乗合旅客運送（路線定期運行）
運行日	通年（年末年始は特別ダイヤ）
総停留所数	48箇所（予定）
再編実施日	平成30年10月1日

②運行経路の変更による停留所の変更（予定）

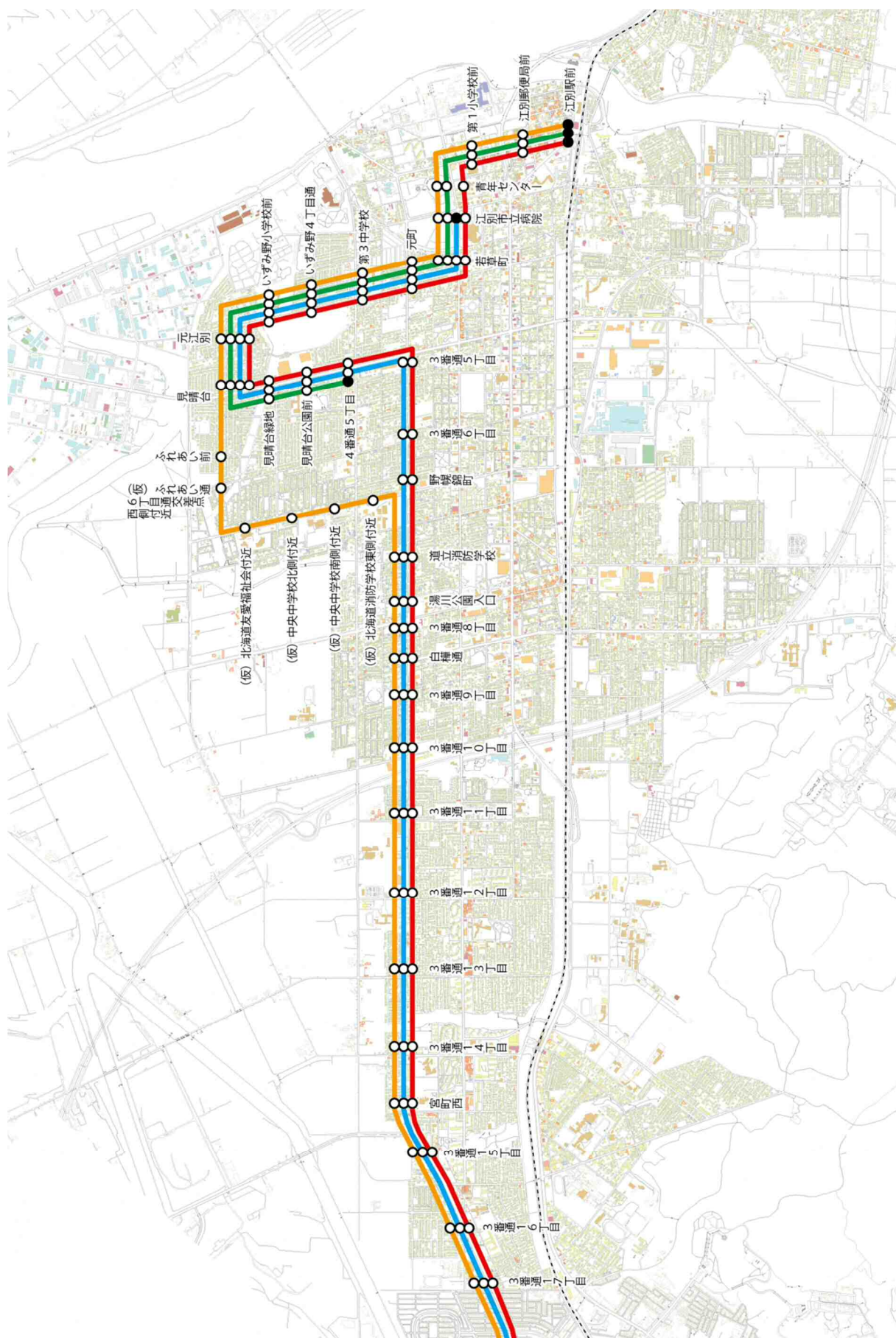
乗降できるようになる停留所	ふれあい前、(仮)ふれあい通6丁目通交差点西側付近、(仮)北海道友愛福祉会付近、(仮)中央中学校北側付近、(仮)中央中学校南側付近、(仮)北海道消防学校東側付近
乗降できなくなる停留所	あけぼの団地、あけぼの団地入口、朝日町南、江別太小学校前、東光保育園前、東光町、東光町入口、江別2条2丁目

③全体の運行規模（予定）

起点	主な経由地	終点
江別駅前	見晴台	新さっぽろ駅

運行便数	平日		土日祝日	
	再編前	再編後	再編前	再編後
往路	34便	31便程度	28便	25便程度
復路	33便	31便程度	27便	25便程度
備考	上記便数には、途中起点便、途中終点便、廃止系統（再編前）を含む。			

④運行系統図（予定）



⑤運行便数（予定）

系統1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起点：江別駅前、終点：新さっぽろ駅 ・ 江別・新さっぽろ線の基本となる運行系統。 		
		平日	土日祝日
	往路	25便程度	19便程度
	復路	18便程度	15便程度

系統2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起点：江別市立病院、終点：新さっぽろ駅 ・ 新札幌からの帰宅のため、夜に復路として設定する運行系統。 		
		平日	土日祝日
	復路	4便程度	3便程度

系統3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起点：江別駅前、終点：4番通5丁目 ・ 見晴台、元江別、いずみ野方面からJR江別駅へ向かう、平日の朝の通勤・通学に対応するため、復路として設定する運行系統。 		
		平日	土日祝日
	復路	2便程度	—

系統4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起点：江別駅前、終点：新さっぽろ駅 ・ 経路の一部について、新栄台（新栄通）を通るものとして設定する運行系統。 		
		平日	土日祝日
	往路	6便程度	6便程度
	復路	7便程度	7便程度

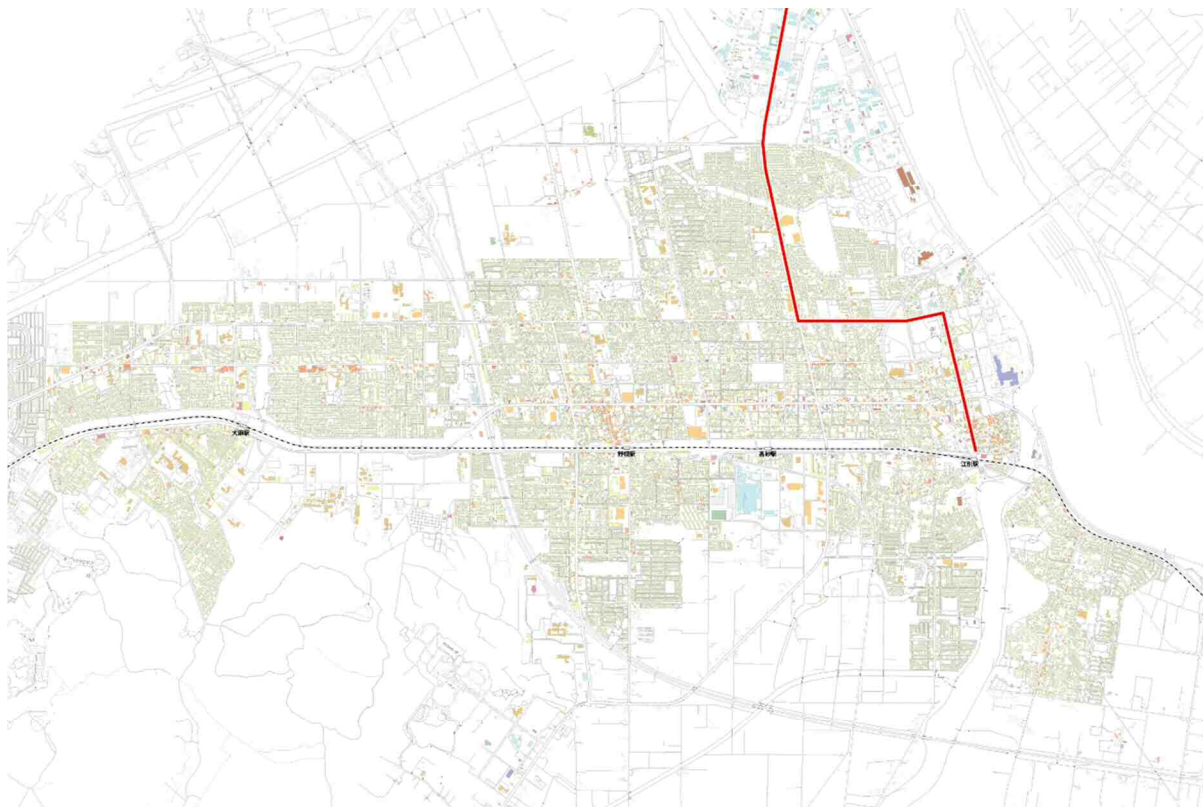
⑥運行系統ごとの停留所（予定）

No	停留所名	読み	系統1	系統2	系統3	系統4
1	江別駅前	えべつえきまえ	○		△	○
2	江別郵便局前	えべつゆうびんきょくまえ	○		△	○
3	第1小学校前	だいいちしょうがっこうまえ	○		△	○
4	青年センター	せいねんせんたー	○		△	○
5	江別市立病院	えべつしりつびょういん	○	△	△	○
6	若草町	わかくさちょう	○	△	△	○
7	元町	もとまち	○	△	△	○
8	第3中学校	だいさんちゅうがっこう	○	△	△	○
9	いずみ野4丁目通	いずみのよんちょうめどおり	○	△	△	○
10	いずみ野小学校前	いずみのしょうがっこうまえ	○	△	△	○
11	元江別	もとえべつ	○	△	△	○
12	見晴台	みはらしだい	○	△	△	○
13	見晴台緑地	みはらしだいいりよくち	○	△	△	
14	見晴台公園前	みはらしだいくわんまへ	○	△	△	
15	4番通5丁目	よんばんどおりごちょうめ	○	△	△	
16	3番通5丁目	さんばんどおりごちょうめ	○	△		
17	3番通6丁目	さんばんどおりろくちょうめ	○	△		
18	野幌錦町	のっぼろにしきまち	○	△		
19	ふれあい前	ふれあいまえ				○
20	(仮) ふれあい通6丁目通交差点西側付近					○
21	(仮) 北海道友愛福祉会付近					○
22	(仮) 中央中学校北側付近					○
23	(仮) 中央中学校南側付近					○
24	(仮) 北海道消防学校東側付近					○
25	道立消防学校	どうりつしょうぼうがっこう	○	△		○
26	湯川公園入口	ゆかわこうえんいりぐち	○	△		○
27	3番通8丁目	さんばんどおりはっちょうめ	○	△		○
28	白樺通	しらかばどおり	○	△		○
29	3番通9丁目	さんばんどおりきゅうちょうめ	○	△		○
30	3番通10丁目	さんばんどおりじゅうちょうめ	○	△		○
31	3番通11丁目	さんばんどおりじゅういちちょうめ	○	△		○
32	3番通12丁目	さんばんどおりじゅうにちょうめ	○	△		○
33	3番通13丁目	さんばんどおりじゅうさんちょうめ	○	△		○
34	3番通14丁目	さんばんどおりじゅうよんちょうめ	○	△		○
35	宮町西	みやまちにし	○	△		○
36	3番通15丁目	さんばんどおりじゅうごちょうめ	○	△		○
37	3番通16丁目	さんばんどおりじゅうろくちょうめ	○	△		○
38	3番通17丁目	さんばんどおりじゅうななちょうめ	○	△		○
39	厚別北3条5丁目	あつべつきたさんじょうごちょうめ	○	△		○
40	厚別北3条4丁目	あつべつきたさんじょうよんちょうめ	○	△		○
41	厚別北3条3丁目	あつべつきたさんじょうさんちょうめ	○	△		○
42	厚別北2条3丁目	あつべつきたにじょうさんちょうめ	○	△		○
43	厚別北小学校	あつべつきたしょうがっこう	△	△		△
44	厚別北2条2丁目	あつべつきたにじょうにちょうめ	○	△		○
45	厚別西2条6丁目	あつべつにしにじょうろくちょうめ	▽			▽
46	厚別中央4条4丁目	あつべつちゅうおうよんじょうよんちょうめ	○	△		○
47	東商業高校前	ひがししょうぎょうこうこうまえ	○	△		○
48	新さっぽろ駅	しんさっぽろえき	○	△		○

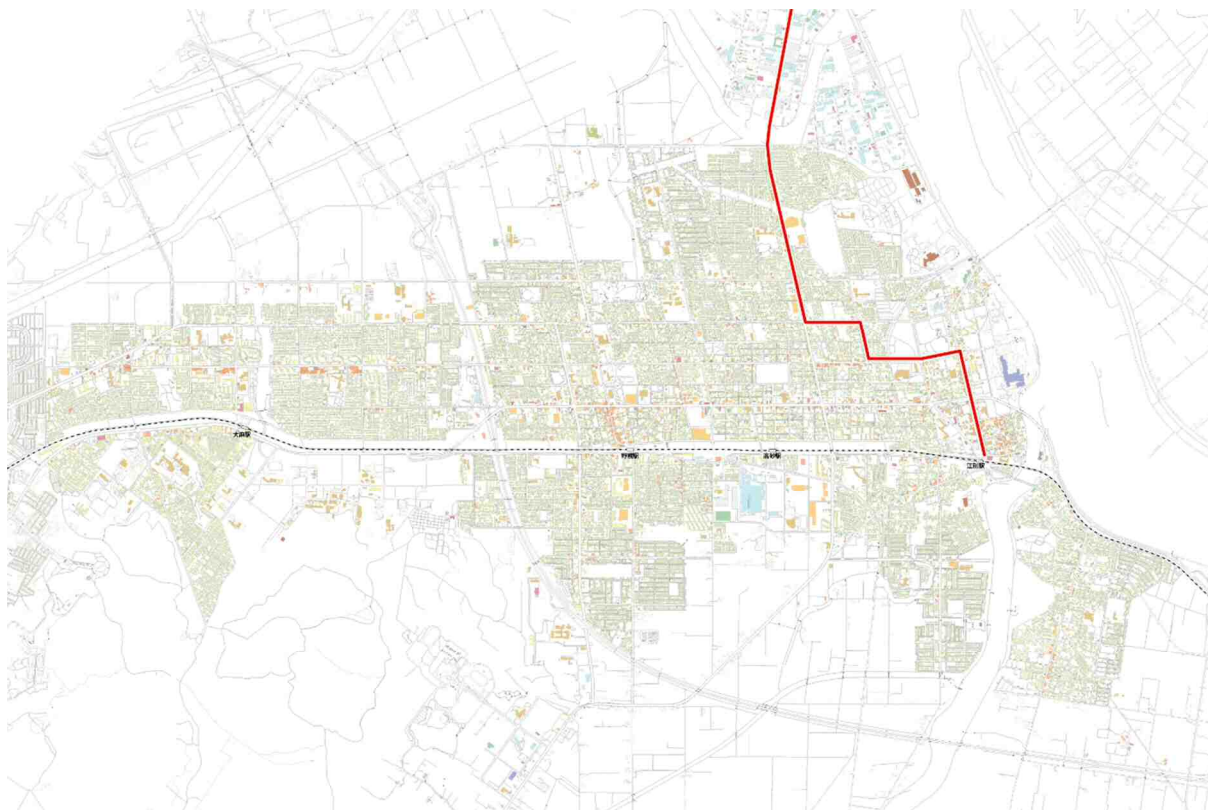
- ：降順・昇順の
両方で乗降可
- ▽：昇順の運行時
のみ乗降可
- △：降順の運行時
のみ乗降可

(3) 札江線

【現行路線】



【H30再編後】



①運行概要

運行のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 江別市立病院を経由することで通院の利便性の向上を図り、利用者の増加を目指す。 運行経路の一部を江別・新さっぽろ線と同一化し、運行の効率化を図る。
対応させる移動目的	通勤・通学・通院・買物
起終点・運行距離	起点：江別駅前 ～ 終点：札幌ターミナル（約21km）
主たる経由地	見晴台・世田ヶ谷
事業主体	北海道中央バス株式会社
事業形態	一般乗合旅客運送（路線定期運行）
運行日	通年（年末年始は特別ダイヤ）
総停留所数	40箇所（予定）
再編実施日	平成30年10月1日

②運行経路の変更による停留所の変更（予定）

乗降できるようになる停留所	青年センター、江別市立病院、若草町、元町
乗降できなくなる停留所	飛鳥山公園、3番通3丁目、北電社宅、3番通4丁目

③全体の運行規模（予定）

起点	主な経由地	終点
江別駅前	見晴台、角山	札幌ターミナル

運行 便数	平日		土日祝日	
	再編前	再編後	再編前	再編後
往路	10便	8便程度	7便	6便程度
復路	10便	8便程度	7便	6便程度
備考				

④運行系統図（予定）



⑤運行便数（予定）

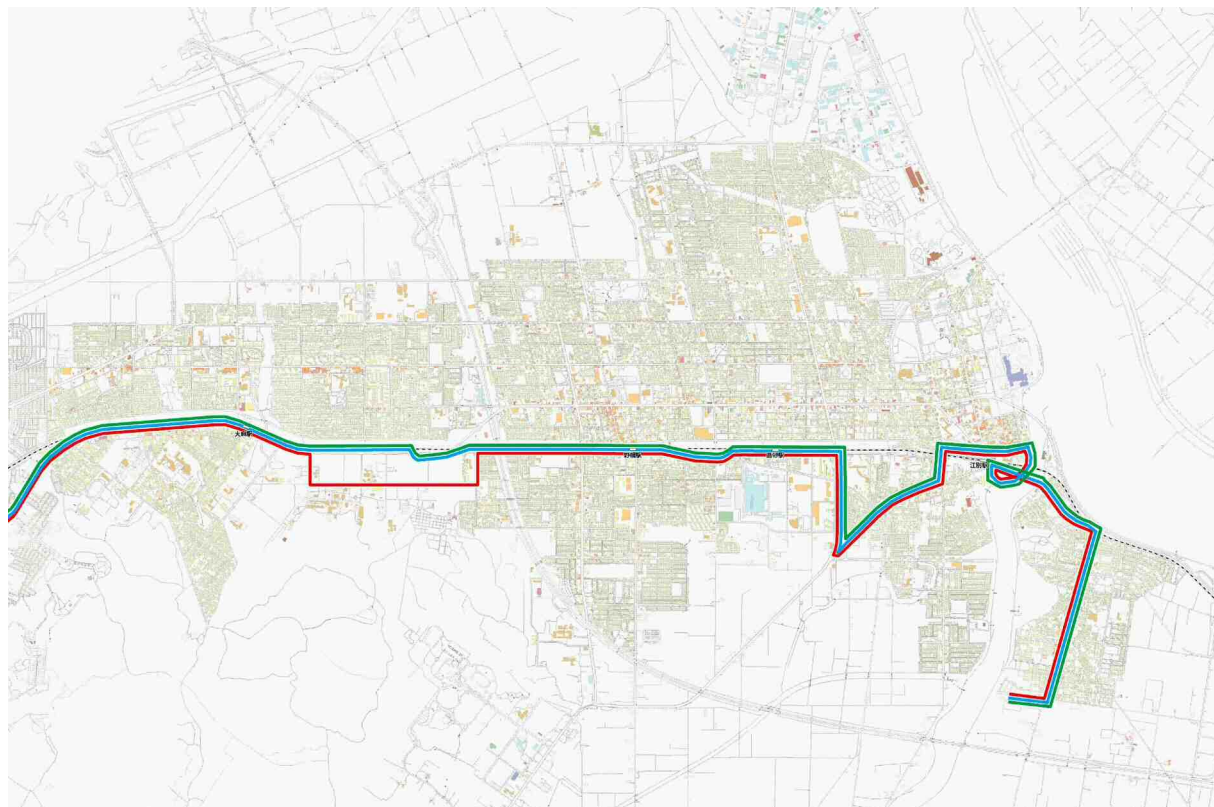
系統1	<ul style="list-style-type: none"> • 起点：江別駅前、終点：札幌ターミナル • 札江線の基本となる運行系統（当該系統のみ運行）。 		
		平日	土日祝日
運行 便数	往路	8便程度	6便程度
	復路	8便程度	6便程度

⑥停留所（予定）

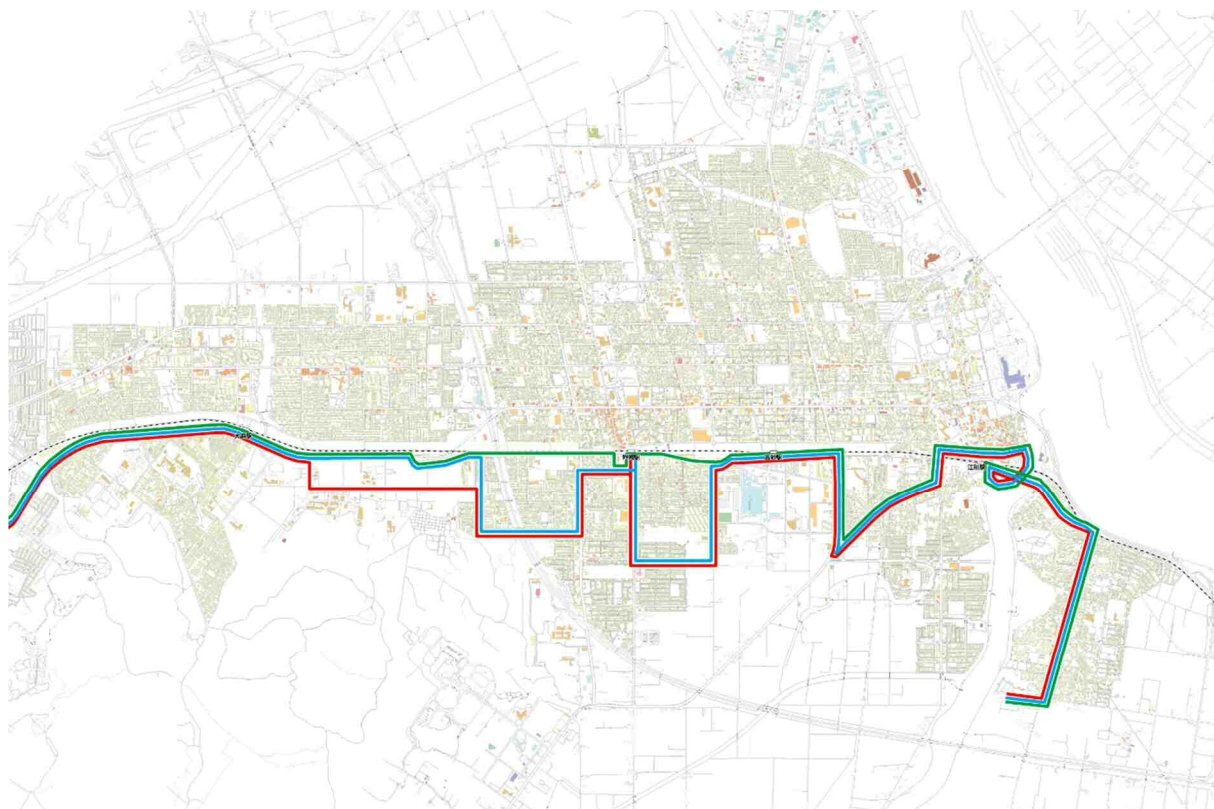
No	停留所名	読み	系統1
1	江別駅前	えべつえきまえ	○
2	江別郵便局前	えべつゆうびんきょくまえ	○
3	第1小学校前	だいいちしょうがっこうまえ	○
4	青年センター	せいねんせんたー	○
5	江別市立病院	えべつしりつびょういん	○
6	若草町	わかくさちょう	○
7	元町	もとまち	○
8	3番通5丁目	さんばんどおりごちょうめ	○
9	4番通5丁目	よんばんどおりごちょうめ	○
10	見晴台公園前	みはらしだいこうえんまえ	○
11	見晴台緑地	みはらしだいいりよくち	○
12	見晴台	みはらしだい	○
13	工栄町南	こうえいちようみなみ	○
14	工栄町北	こうえいちようきた	○
15	新石狩大橋	しんいしかりおおはし	○
16	東角山	ひがしかくやま	○
17	世田ヶ谷	せたがや	○
18	角山橋	かくやまばし	○
19	中央角山	ちゅうおうかくやま	○
20	農場前	のうじょうまえ	○
21	西角山	にしかくやま	○
22	角山入口	かくやまいりぐち	○
23	市界	しかい	○
24	米里	よねさと	○
25	東雁来	ひがしかりき	○
26	東雁来8条2丁目	ひがしかりきはちじょうにちょうめ	○
27	東雁来7条2丁目	ひがしかりきななじょうにちょうめ	○
28	東雁来6条2丁目	ひがしかりきろくじょうにちょうめ	○
29	東雁来5条1丁目	ひがしかりきごじょういっちょうめ	○
30	東雁来4条1丁目	ひがしかりきよんじょういっちょうめ	○
31	東雁来2条1丁目	ひがしかりきにじょういっちょうめ	○
32	イオンモール札幌苗穂入口	いおんもーるさっぽろなえぼいりぐち	○
33	本町1条10丁目	ほんちょういちじょうじゅっちょうめ	○
34	苗穂町12丁目	なえぼちょうじゅうにちょうめ	○
35	北1条東17丁目	きたいちじょうひがしじゅうななちょうめ	○
36	東橋	あずまばし	○
37	北1条東10丁目	きたいちじょうひがしじゅっちょうめ	○
38	北1条東6丁目	きたいちじょうひがしろくちょうめ	○
39	サッポロファクトリー	さっぽろふあくとりー	○
40	札幌ターミナル	さっぽろたーみなる	○

(4) 札幌線

【現行路線】



【H30再編後】



①運行概要

運行のねらい	・一定の人口の張り付きがあるものの、近くにバス路線がない地域と考えられる、あさひが丘方面や野幌若葉町方面のバス利用の需要に対応すべく、運行経路の変更を行う。
対応させる移動目的	通勤・通学・通院・買物
起終点・運行距離	起点：あけぼの団地 ～ 終点：新札幌駅前（約17km）
主たる経由地	西町・酪農
事業主体	夕張鉄道株式会社
事業形態	一般乗合旅客運送（路線定期運行）
運行日	通年（年末年始は特別ダイヤ）
総停留所数	68箇所（予定）
再編実施日	平成31年4月1日

②運行経路の変更による停留所の変更（予定）

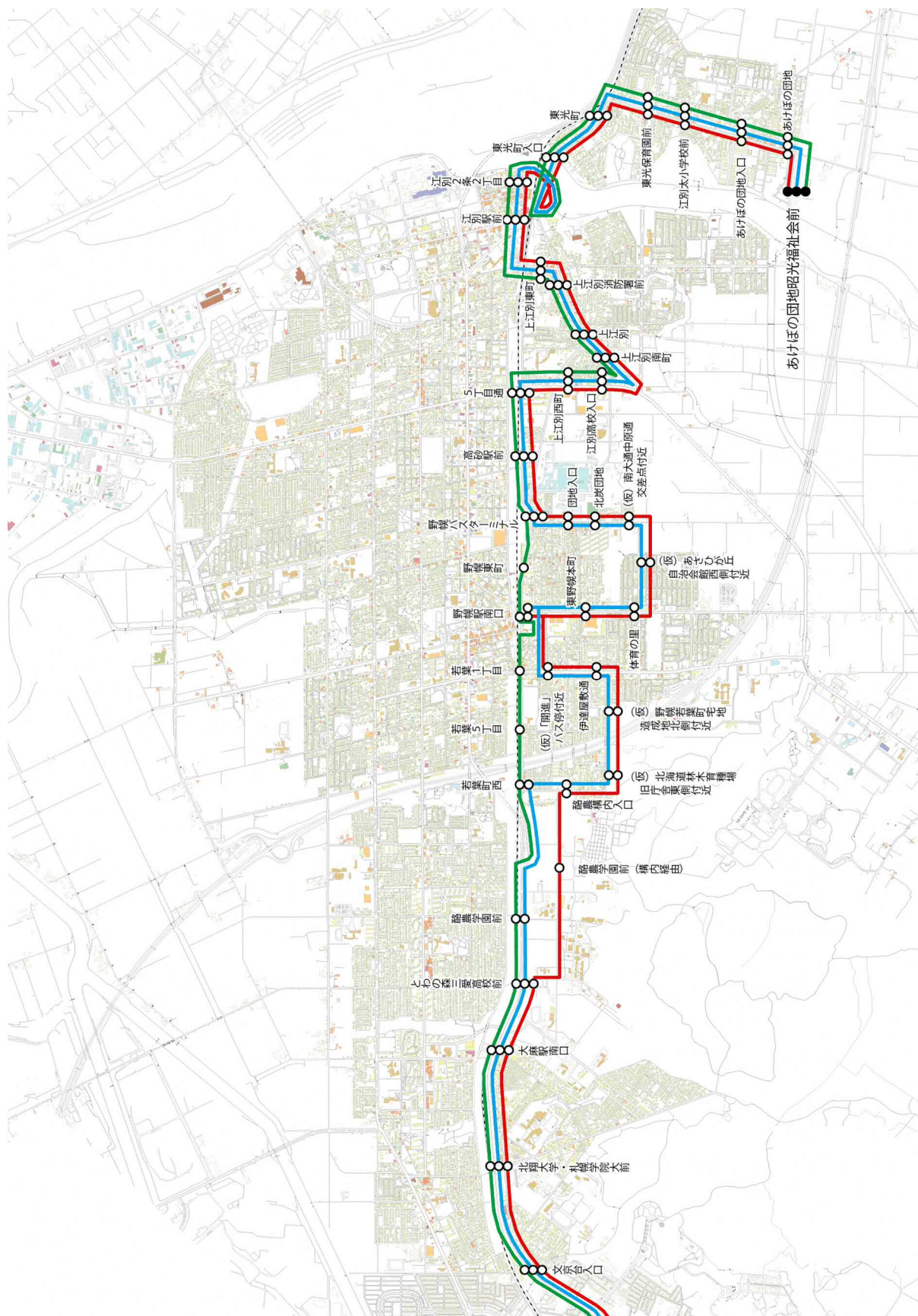
乗降できるようになる停留所	団地入口、北炭団地、(仮)南大通中原通交差点付近、(仮)あさひが丘自治会館西側付近、体育の里、東野幌本町、(仮)「開進」バス停付近、伊達屋敷通、(仮)野幌若葉町宅地造成地北側付近、(仮)北海道林木育種場旧庁舎東側付近
乗降できなくなる停留所	野幌東町、若葉1丁目、若葉5丁目 ※一部系統で乗降可

③全体の運行規模（予定）

起点	主な経由地	終点
あけぼの団地昭光福社会前	上江別西町、酪農学園	新さっぽろ駅前／札幌大通

運行 便数	平日		土日祝日	
	再編前	再編後	再編前	再編後
往路	5便	5便程度	2便	2便程度
復路	4便	4便程度	2便	2便程度
備考	上記便数には、札幌大通を終点とする便を含む。			

④運行系統図（予定）



⑤運行便数（予定）

系統1	<ul style="list-style-type: none"> • 起点：あけぼの団地昭光福社会前、終点：新さっぽろ駅前 • 札幌線の基本となる運行系統。 		
		平日	土日祝日
運行 便数	往路	4便程度	1便程度
	復路	4便程度	2便程度

系統2	<ul style="list-style-type: none"> • 起点：あけぼの団地昭光福社会前、終点：新さっぽろ駅前 • 往路の平日始発便。酪農学園の開学時間前の運行であるため、学園構内ではなく国道12号を經由。 		
		平日	土日祝日
運行 便数	往路	1便程度	—

系統3	<ul style="list-style-type: none"> • 起点：あけぼの団地昭光福社会前、終点：札幌大通 • 夕張鉄道株式会社が運行する他の路線を補完するため、土日祝日の往路に設定する運行系統。 		
		平日	土日祝日
運行 便数	往路	—	1便程度

⑥運行系統ごとの停留所（予定）

No	停留所名	読み	系統1	系統2	系統3
1	あけぼの団地昭光福祉会前	あけぼのだんちしょうこうふくしかいまえ	○	▽	▽
2	あけぼの団地	あけぼのだんち	○	▽	▽
3	あけぼの団地入口	あけぼのだんちいりぐち	○	▽	▽
4	江別太小学校前	えべつぶとしょうがっこうまえ	○	▽	▽
5	東光保育園前	とうこうほいくえんまえ	○	▽	▽
6	東光町	とうこうちょう	○	▽	▽
7	東光町入口	とうこうちょういりぐち	○	▽	▽
8	江別2条2丁目	えべつにじょうにちょうめ	○	▽	▽
9	江別駅前	えべつえきまえ	○	▽	▽
10	上江別東町	かみえべつひがしまち	○	▽	▽
11	上江別消防署前	かみえべつしょうぼうしよまえ	○	▽	▽
12	上江別	かみえべつ	○	▽	▽
13	上江別南町	かみえべつみなみまち	○	▽	▽
14	江別高校入口	えべつこうこういりぐち	○	▽	▽
15	上江別西町	かみえべつにしまち	○	▽	▽
16	5丁目通	ごちょうめどおり	○	▽	▽
17	高砂駅前	たかさごえきまえ	○	▽	▽
18	野幌バスターミナル	のっぽろばすターミナル	○	▽	▽
19	団地入口	だんちいりぐち	○	▽	
20	北炭団地	ほくたんだんち	○	▽	
21	（仮）南大通中原通交差点付近		○	▽	
22	（仮）あさひが丘自治会館西側付近		○	▽	
23	体育の里	たいいくのさと	○	▽	
24	東野幌本町	ひがしのっぽろほんちょう	○	▽	
25	野幌東町	のっぽろひがしまち			▽
26	野幌駅南口	のっぽろえきみなみぐち	○	▽	▽
27	若葉1丁目	わかばいっちょうめ			▽
28	若葉5丁目	わかばごちょうめ			▽
29	（仮）「開進」バス停付近		○	▽	
30	伊達屋敷通	だてやしきどおり	○	▽	
31	（仮）野幌若葉町宅地造成地北側付近		○	▽	
32	（仮）北海道林木育種場旧庁舎東側付近		○	▽	
33	酪農構内入口	らくのうこうないいりぐち	○	▽	
34	若葉町西	わかばちょうにし		▽	▽
35	酪農学園前	らくのうがくえんまえ		▽	▽
36	酪農学園前（構内経由）	らくのうがくえんまえこうないけいゆ	○		
37	とわの森三愛高校前	とわのもりさんあいこうこうまえ	○	▽	▽
38	大麻駅南口	おおあさえきみなみぐち	○	▽	▽
39	北翔大学・札幌学院大前	ほくしょうだいがく・さっぽろがくいんだいまえ	○	▽	▽
40	文京台入口	ぶんきょうだいいりぐち	○	▽	▽
41	厚別東小学校前	あつべつひがししょうがっこうまえ	○	▽	▽
42	厚別東4条4丁目	あつべつひがしよんじょうよんちょうめ	○	▽	▽
43	厚別東4条2丁目	あつべつひがしよんじょうにちょうめ	○	▽	▽
44	厚別中央2条6丁目	あつべつちゅうおうにじょうろくちょうめ	○	▽	▽
45	新さっぽろ駅前	しんさっぽろえきまえ	○	▽	▽

夕張鉄道株式会社：札幌線（あけぼの団地 発）

No	停留所名	読み	系統1	系統2	系統3
46	東商業高校前	ひがししょうぎょうこうこうまえ			▽
47	厚別西通	あつべつにしどおり			▽
48	旭町	あさひまち			▽
49	厚別平和通入口	あつべつへいわどおりいりぐち			▽
50	北星大学通	ほくせいだいがくどおり			▽
51	流通センター通	りゅうつうせんたーどおり			▽
52	白石本通16丁目	しろいしほんどおりじゅうろくちょうめ			▽
53	白石神社前	しろいしじんじまえ			▽
54	白石本通10丁目	しろいしほんどおりじゅうちょうめ			▽
55	白石本通8丁目	しろいしほんどおりはっちょうめ			▽
56	白石本通5丁目	しろいしほんどおりごちょうめ			▽
57	白石本通2丁目	しろいしほんどおりにちょうめ			▽
58	中央1条6丁目	ちゅうおういちじょうろくちょうめ			▽
59	中央1条3丁目	ちゅうおういちじょうさんちょうめ			▽
60	中央1条1丁目	ちゅうおういちじょういちちょうめ			▽
61	菊水9条3丁目	きくすいくじょうさんちょうめ			▽
62	東高校前	ひがしこうこうまえ			▽
63	北1東10丁目	きたいちひがしじゅうちょうめ			▽
64	北1東6丁目	きたいちひがしろくちょうめ			▽
65	サッポロファクトリー	さっぽろふあくとりー			▽
66	北1東2丁目	きたいちひがしにちょうめ			▽
67	時計台前	とけいだいまえ			▽
68	札幌大通西3丁目	さっぽろおおどおりにしさんちょうめ			▽

○：降順・昇順の両方で乗降可

▽：降順の運行時のみ乗降可

△：昇順の運行時のみ乗降可

3-3 路線の収支、再編後の収支見込額及び活用を想定する補助制度

本計画に基づき再編する路線の再編前の収支、再編後の収支見込額及び活用を想定する補助制度を下表に示します。

事業者名	路線名	再編前	再編後			活用を想定する補助制度
		収支 (千円)	運行経費 (千円)	運賃収入 (千円)	収支 (千円)	
北海道 中央バス 株式会社	(仮称)循環線	▲28,502	各路線の運行便 数案が決まり次 第、下記の条件 により試算す る。			<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通確保維持改善事業補助金 (地域内フィーダー系統補助) 生活バス路線運行費補助金 (江別市補助)
	江別2番通線	▲17,025				<ul style="list-style-type: none"> 生活バス路線運行費補助金 (江別市補助)
	江別・新さっぽろ線	▲10,270				
	札幌線	▲25,701				<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通確保維持改善事業補助金 (地域間幹線系統補助)
夕張鉄道 株式会社	札幌線	▲5,821				

※再編前の運行収支は、平成28年度運行実績より。ただし、(仮称)循環線は、江別4番通線及び江別錦町線の収支の合計である。

※運行経費は、各路線の平成28年度実績によるキロ当たり単価に基づき試算。なお、(仮称)循環線は、江別4番通線及び江別錦町線の平成28年度実績によるキロ当たり単価に基づき試算。

※運賃収入は、平成28年度の各路線の収支率を維持したものと仮定し試算。なお、(仮称)循環線は、江別4番通線及び江別錦町線の合計額による収支率を維持したものと仮定し試算。

※活用を想定する補助制度は、平成30年3月31日現在の制度に基づく想定である。

第4章 事業の効果

4-1 市内バス路線の再編による事業の効果

4-1-1 路線新設による事業の効果

項目	事業の効果
(仮称)循環線の運行 (北海道中央バス株式会社)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅から離れている見晴台方面や元江別、いずみ野方面とJR野幌駅の間を8の字型経路で運行することにより、通勤・通学における速達性のニーズに対応するとともに、中心市街地との接続性の向上を図り、買物など中心市街地への誘客を促す。 ・ 江別4番通線と江別錦町線を統合することで、運行の効率化を図る。

4-1-2 運行経路の変更等による事業の効果

項目	事業の効果
江別2番通線の経路変更 (北海道中央バス株式会社)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「第2中学校前」停留所と「大麻11丁目」停留所間の経路を3番通へ変更することにより、運行目的が類似する他のバス路線との競争を一部解消するとともに、大麻地区北側（商業施設等）とJR大麻駅・野幌駅との接続性の向上を図る。 ・ 江別4番通線の廃止に伴う野幌地区北西側のバス路線空白化に対応するとともに、あけぼの団地方面やJR野幌駅などから野幌高校への通学に対応する。
江別・新さっぽろ線の運行系統の設定 (北海道中央バス株式会社)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経路の一部において、人口が増加している新栄台を通る系統を設定することにより、路線の利便性を高めるとともに、江別錦町線の廃止を補完する。 ・ 見晴台、元江別、いずみ野方面からJR江別駅へ向かう朝の通勤・通学に対応する系統を設定することにより、路線としての利用増を図るとともに、江別4番通線、江別錦町線の廃止を補完する。
札江線の経路変更 (北海道中央バス株式会社)	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR江別駅と「3番通4丁目」停留所間の経路を、江別・新さっぽろ線と同一にすることで、江別市立病院への通院に利用できる路線にするとともに、路線としての運行の効率化を図る。
札幌線の経路変更 (夕張鉄道株式会社)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経路を、人口は多いが近くにバス路線がない地域とされる、あさひが丘東側や野幌若葉町南西側を通るものへ変更することで、野幌地区南側におけるJR駅や新札幌との接続性の向上を図る。

第5章 江別市による支援

5-1 江別市地域公共交通活性化協議会の運営等

江別市地域公共交通活性化協議会の事務局を担い、公共交通事業者や関係機関、市民等の意見、要望、利害関係などを調整します。

5-2 公共交通の利用促進及び啓発等

公共交通に対する市民の理解や意識を高めることにより、少子高齢化の進展とともに人口減少が進む中であっても公共交通利用者数を維持するため、交通事業者や関係機関と連携してモビリティ・マネジメント施策を実施します。

5-3 路線バス事業の維持・確保に対する財政的支援

市内バス路線を適切に維持するために、必要な財政的支援を実施します。